

令和5年1月

令和4年度幸区地域デザイン会議 結果概要

日時：令和4年10月7日（金）

16時～17時30分

場所：ステーションコンファレンス川崎

1 開催概要

(1) テーマ

～川崎駅西口を中心とした地域資源を活用したまちの賑わい～

川崎市では、より多くの市民が関わり参加しやすい機会を拡充するため、「区民会議」のリニューアルに向けた新しい参加の場として、区民による対話の場「地域デザイン会議」を創出いたしました。

この取組は、令和5（2023）年度までを試行期間とし、各区役所で様々なテーマや開催形式により、実施していくこととなっております。

川崎駅西口には、ミュージア川崎シンフォニーホールや東芝未来科学館などの文化施設や、大型商業施設のラゾーナ川崎があるほか、ホテルメトロポリタン川崎やJRタワー、また令和5年度にはホリプロの施設が開館する予定です。

幸区としては、新たなまちが形成されていく中、今後より一層川崎駅西口の持つ力を発揮し、市内外にその魅力を発信していくことが、区民の区への愛着と誇りの醸成に繋がるものと考えています。

令和3年度の地域デザイン会議で川崎駅周辺の事業者や区民の皆様にお集まりいただき、まちの賑わいづくりについての意見交換を行いました。今回はこれを踏まえて、より具体的な取り組みに向けた意見交換を行うため地域デザイン会議を開催するものです。

(2) 参加者、傍聴者等

参加者：34名

（南河原小学校生徒3名、南河原中学校生徒3名、幸高校生徒3名、川崎総合科学高等学校生徒3名、町内会・商店会関係者3名、川崎駅西口周辺事業者18名、傍聴者1名）

2 意見交換

【川崎駅西口周辺での現在の取り組みについて】

(町内会の意見)

- ・ 毎年 8 月の第三土曜日に女躰神社の例大祭を開催
- ・ 南河原町内会連合会で盆踊り大会を実施（ラゾーナ川崎と共催）
- ・ 納涼大会を実施（川崎幸病院やキャノン株式会社と共催）
- ・ その他、単会の町内会・自治会での行事を開催（例：餅つき大会）

(事業者の意見)

- ・ 川崎市イベント「優しい木の広場」を実施（ラゾーナ川崎）
→午前～夕方イベントで多世代が参加できる方が動員数が多い。

【川崎駅西口で実施したい・してほしい取り組みについて】

(小学生の意見)

- ・ 小さい子どもが無料で遊べる施設がある。
→大人向け、子ども向けの施設が近くにあると、子どもも楽しみつつ、大人も楽しめる。

(中学生の意見)

- ・ 親子で協力して大会などの実施
- ・ 部活動やクラブによる発表の場
- ・ 日常では体験できないものは、どの世代でも興味が惹かれる。

(幸高校生の意見)

- ・ 小学生や中学生が描いた絵を西口全体で飾る。大小さまざまなキャンパスを設置して、自由に絵を描いてもらう。
→絵を見た人に多世代の存在を感じてもらえる。
→アンケートで選ばれた作品を表彰などすれば参加者のやる気も出て、挑戦してみようと思える。

(総合科学高校生の意見)

- ・ アートを取り入れたイベントの開催
→色々な人に楽しんでもらえる。
→インフルエンサーに協力してもらい、SNS を活用して PR する。
- ・ 「川崎駅西口公園化計画」
→まちの至る所にシートを敷いて座れるようにする。
→大人も子どもも楽しめる遊具を設置する。昼は子どもが、夜は大人が楽しめる空間

【取り組みに対し、協力できることについて】

(事業者の意見)

- ・プロのゲーミングチームを持っているほか、イベント大会運営も行っている。学校や親子での大会への協力など（スカーズ）
- ・プールの活用や運動・健康についてのアドバイス、明るさやコミュニケーションといったふれあいのきっかけとなるコンテンツへの協力（JR東日本スポーツ）
- ・イベントの企画提案、制作など（ホリプロ）
- ・ホテル館内へのアートの展示（ホテルメトロポリタン 川崎）
- ・公開空地の活用（JR東日本ビルディング）
- ・医療体験や手術の真似のような体験型のコンテンツの提供（幸病院）

【人の回遊性、面での取り組みについて】

（商店会の意見）

- ・西口周辺の商業施設で消化してしまっていて、商店街の方まで人が来ないという状態がある。面として賑わうものを作って、西口商店街の方まで来てくれると良い。
- ・見晴らし公園にストリートバスケットを作る予定があり、行政でもイベントを組んでいる。そこから西口周辺、さらに尻手の方まで点と線を結ぶと南河原地区一帯が良くなると思う。そして、どんな取り組みでも継続することが大切。

見晴らし公園の船着き場をメインにもっていくと、そこから発生したものが幸区にずっとつながっていく。

【まとめ・今後の展開について】

今回の意見を踏まえ、今後具体的な話は実務者レベルで議論し、そこで議論した案について、世話人会でイベントなどの形にして進めていく。